



## とちぎマイスター「建築大工（大工工事作業）」の技能の例 和風建築と在来軸組工法

てらうち しげる  
**寺内 茂**

栃木市 在住

寺内工務店 (TEL 0282-31-1201)

### 古来建築と規く術

(現在の仕事)

和風住宅の本化粧造り、入母屋造りなどを中心とした一般住宅の設計、施工及び現場監理までを行っている。

(得意な分野)

古来からの日本建築の建物が年々減ってきている中で、入母屋造りの化粧屋根のむくり、丸太梁など伝統工法を取り入れた数寄屋造りなどの住宅建築を得意としている。古くから伝わる規く術の基本は、いかに差し金を使うかであり、差し金を自在に操る技能の継承に力を注いでいる。

### 日本建築の基本は規く術を知ること

木造建築は、木の良さをいかに生かすかである。今は桧や杉などを柱に使う代わりに、大壁による施工が中心となっている。また、プレカットの木材の使用が主流となっており、若い大工達も、木取り、穴あけ等にノミ・カンナを使う場がなく、日本建築の技能を継承する人材の確保・育成が難しくなっている。

私自身、若い頃、認定職業訓練校にて規く術、差し金の

使い方を習得した。現在は同校にて会長兼指導員として、大工の基本である勾芻玄の図面などを訓練生に指導している。今後も、そうした活動を通じて、世界でも類を見ない日本の建築技術の基本「規く術」を後進に伝えていきたい。

